

## 日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 17 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の A・B・C の各文を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

720(養老4)年、律令国家の建設に大きな役割を果たした藤原不比等が死去すると、天武天皇の孫の長屋王が右大臣となり政権を握った。当時、重い課税負担から逃れるため、農民のなかには口分田を捨てて浮浪・逃亡する者が跡を絶たず、このため口分田の多くが荒廃するとともに、<sup>(a)</sup>貴族や寺社の土地占有や人口の増加によって、班給すべき口分田が不足して班田收授の実施が困難となった。そこで、政府は、人口の増加による口分田の不足を補い税の増収をはかるため、722(養老6)年に百万町歩開墾計画を立て、翌723(養老7)年には<sup>(b)</sup>三世一身法を施行して開墾を奨励した。

聖武天皇が即位すると、長屋王は、不比等の子である藤原武智麻呂ら4兄弟と対立するようになり、729(天平元年)、藤原氏の陰謀により自殺に追い込まれ(長屋王の変)、<sup>(c)</sup>不比等の娘の光明子が聖武天皇の皇后になった。しかし、4兄弟は、737(天平9)年の天然痘の流行によって相次いで死亡してしまい、代わって皇族出身の橘諸兄が政権を握り、唐から帰国した吉備真備や僧<sup>(イ)</sup>が聖武天皇に信任されて活躍した。740(天平12)年、藤原広嗣が吉備真備や<sup>(イ)</sup>の追放を求めて九州で反乱を起こしたが鎮圧された(藤原広嗣の乱)。この乱が起きてから約5年間にわたり、聖武天皇は、恭仁・難波・紫香楽と都を転々とした。

問(1) 下線部(a)に関連して、『続日本紀』には、「(養老元年五月)丙辰。詔して曰はく、率土の百姓、四方に浮浪して、課役を規避し、遂に王臣に仕へて、或は資人を望み、或は<sup>(ア)</sup>を求む。」と書かれ、農民が重い課役を免れていたことが指摘されている。空欄(ア)は、正式に出家することをいうが、空欄(ア)に該当する語句を記しなさい。

問(2) 下線部(b)に関連して、三世一身法が廃止された経緯について、墾田永年私財法には、「聞くならく、墾田は養老七年の格に依りて、限満つる後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る、と。」と書かれているが、「限満つる」とはどういうことか、「限」の内容を明らかにして15字以内で記しなさい(句読点は含まない)。

問(3) 下線部(c)に関連して、これは従来の伝統を破るものであったが、その伝統とは何か、15字以内で記しなさい(句読点は含まない)。

問(4) 空欄(イ)に該当する人物を記しなさい。

## B

地頭は、鎌倉時代の初めは、年貢の収納や田地の管理については厳しく制限されていたが、承久の乱後には、百姓を責め立てたり、いろいろの口実を設けて年貢を送らずに押領するなどして荘園支配に干渉しはじめようになり、その横暴ぶりが目立つようになった。このような地頭の荘園侵略に耐えかねて、<sup>(d)</sup>荘園領主は、地頭と妥協するようになっていき、地頭請の契約を結んだり、(イ)の取決めを行うようになった。地頭請は、荘園領主が荘園の管理を全て地頭にまかせる代わりに、毎年一定額の年貢納入だけを請け負わせる荘園支配方式であるが、多くの荘園では地頭の横暴がますますひどくなった。このため、荘園領主は、荘園の土地そのものを折半して、両者が互いの領分に干渉しない(イ)を望むようになった。幕府も、荘園領主が地頭の年貢押領などを訴えてきた場合には、(イ)をすすめるようになった。

問(5) 下線部(d)に関連して、地頭の横暴を示す史料としては紀伊国阿氏河荘上村百姓等言上状が有名であるが、この言上状第4条には、「一、ヲンサイモクノコト、アルイワチトウノキヤウシヤウ、アルイワチカフトマウシ、カクノコトクノ人フヲ、チトウノカタエセメツカワレ候へハ、ヲマヒマ候ワス候、ソノハコリ、ワツカニモレノコリテ候人フヲ、サイモクノヤマイタシエ、イテタテ候エハ、テウマウノアトノムキマケト候テ、ヲイモトシ候イヌ、…」(『高野山文書』)と書かれている。下線部の「チトウノキヤウシヤウ」や「チカフ」は、いずれも地頭の ウ の一種である。空欄(ウ)に該当する語句を、漢字2字で記しなさい。

問(6) 空欄(エ)に該当する語句を記しなさい。

問(7) 空欄(エ)の一つには、『金剛三昧院文書』に記されているような、荘園領主と地頭が裁判での争いを中止して両者の取決めによる解決(示談)により行われるものがあるが、この取決めによる解決(示談)を何というか、漢字2字で記しなさい。

## C

多くの戦国大名は、家臣団の統制と農民の支配のために、家法・壁書などといわれた分国法を制定した。分国法には、鎌倉期以来の幕府法・守護法を継承したものとともに、国人一揆の規約を吸収した法などがみられ、中世法の集大成的な性格を有していた。分国法としては、越前朝倉氏の『朝倉孝景条々』、駿河今川氏の『今川仮名目録』、陸奥伊達氏の『塵芥集』、甲斐武田氏の『オ』などが有名である。また、戦国大名は、武器など大量の物資の生産や調達を必要としたため、城の周辺に商工業者を集住させたが、それによって城の周辺には城下町が形成された。さらに、戦国大名は、新たに征服した土地などで検地を行って、農民の耕作する土地の面積や年貢高などを検地帳に登録した。戦国大名の検地は、家臣である領主や農民の自己申告にもとづくものであり、大名が自ら調査したものではなかった。

問(8) 次のA・B・Cは、家臣同士の喧嘩を禁止する分国法の規定であるが、空欄(カ)に該当する語句を記すとともに、A・B・Cの中から空欄(カ)に該当するものを選んで、その記号を記しなさい。

- A 一、喧嘩の事、是非に及ばず成敗を加うべし。但し、取り懸かるといへども、堪忍せしむるの輩においては、罪科に処すべからず。
- B 一、喧嘩に及ぶ輩は理非を論ぜず両方ともに死罪に行ふべきなり。
- C 一、喧嘩・口論鬪諍のうへ、理非披露にあたはず、わたくしに人の在所へ差し懸くる事、たとひ至極の道理たりといふとも、差し懸け候かたの越度たるべし。

問(9) 下線部(d)に関連して、城下町としては、北条氏の小田原、上杉氏の春日山、今川氏の駿府、朝倉氏の 、浅井氏の小谷などが有名である。空欄(カ)に該当する語句を記しなさい。

問(10) 下線部(e)に関連して、織田信長も、他の戦国大名と同じ方式によって検地を行っているが、このような検地について、『多聞院日記』には、「廿六日、当国中寺社・本所・諸寺・諸山・国衆悉以て一円に  出すべきの旨、悉以て相触れられおわんぬ。沈思沈思。」と書かれており、寺社側の衝撃を表している。空欄(キ)に該当する語句を、漢字2字で記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)・(C)・(D)の各文を読み、各問題について、語群からもっとも適当と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A)

豊臣秀吉は、織田信長の政策を踏襲してキリスト教を積極的に保護したため、信者の数は数十万人となり、キリシタン大名も10氏を超えた。しかし、秀吉は、しだいにキリスト教に対して弾圧政策をとるようになり、まず大名らのキリスト教入信を許可制とし、あるキリシタン大名に棄教を求めたところ拒否されたため、その領地を没収するなどした。<sup>(a)</sup> 次いで、1587(天正15)年6月19日には、パテレン追放令を<sup>(b)</sup>発して宣教師の国外追放を命じた。もっとも、秀吉は、1588(天正16)年7月、海賊取締令を<sup>(c)</sup>発して倭寇などの海賊行為を禁止して海上の平和を確保するとともに、京都・堺・長崎・博多の豪商らによる東アジア諸国への渡航を保護するなど、南方貿易を推奨したため、キリスト教の取締りは不徹底なものとなり、キリスト教は各地に広がりを見せた。ところが、1596(慶長元)年9月、サン=フェリペ号が土佐に漂着したことから、スペインが領土拡張に宣教師を利用しているという話が伝わると、秀吉は、同年11月、スペイン系のフランシスコ会を中心とする宣教師・修道士ら26名を捕えて処刑した。この事件の背景には、フランシスコ会とイエズス会の対立があったようだが、日本の支配者層にキリスト教に対する警戒心を植え付けることとなった。

問(1) 下線部(a)の、棄教を求められたキリシタン大名と没収された領地の組み合わせで正しいものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- |             |             |
|-------------|-------------|
| A 大村純忠・肥前大村 | B 高山図書・摂津高槻 |
| C 大友義鎮・豊後府内 | D 高山右近・播磨明石 |
| E 有馬晴信・肥前有馬 | F 内藤如安・丹波八木 |

問(2) 下線部(b)のバテレン追放令の説明として誤っているものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A バテレンとはポルトガル語のパードレの音訳で、外国人宣教師のことである。
- B 宣教師は20日以内に帰国せよと命じている。
- C 宣教師が神社仏閣を破壊していることが理由に挙げられている。
- D 『松浦家文書』では、全5条で構成されている。
- E ポルトガル船とスペイン船による貿易を禁じた。
- F 貿易の不振を恐れて、しばらくの間、励行されなかった。

問(3) 下線部(c)の説明として正しいものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A サン=フェリペ号はポルトガル船であった。
- B 処刑は平戸で執行された。
- C この事件が日本でのキリシタン殉教史の始まりとされている。
- D 殉教者は外国人のみであった。
- E 26名は火炙りの刑に処された。
- F サン=フェリペ号を臨検した増田長盛は、船荷などを没収することなく、急いで秀吉に情報を報告した。

(B)

秀吉は、1587(天正15)年の九州出兵中、対馬の宗家を通じて、朝鮮に服属と明への先導を要求した。朝鮮がこれを拒否すると、秀吉は出兵を決意し、1592(文禄元)年、肥前の名護屋に本陣を構えて、唐入進発を諸将に命じた。これが文禄の役である。 (ア) らが率いた全9軍15万余の将兵は釜山から漢城に侵攻し、一部はさらに北上して辺境の会寧まで達したが、李舜臣が率いた朝鮮水軍の活躍、義民軍の抵抗、明からの援軍などにより、補給路を断たれて戦局は停頓した。結局、秀吉が明に示した諸要求は認められることなく、<sup>(d)</sup>「汝を封じて日本国王となす」という屈辱的な回答しか得られなかった。これに憤慨した秀吉は、1597(慶長2)年、再び14万余の大軍を出動させた。これが慶長の役である。朝鮮兵と明軍の激しい抵抗のため、戦場は朝鮮南部に限られた。1598(慶長3)年8月、秀吉が伏見城で死去したため、撤兵した。

問(4) 空欄(ア)に該当しない人名を選びなさい。

[語 群]

- |         |        |        |
|---------|--------|--------|
| A 小早川秀秋 | B 小西行長 | C 福島正則 |
| D 藤堂高虎  | E 加藤清正 | F 黒田長政 |

問(5) 下線部(d)の、明に対する秀吉の要求に関する説明として正しいものはどれか、選びなさい。

[語 群]

- A 朝鮮の王女を日本の后妃とするよう求めた。
- B 朱印船貿易の復活を求めた。
- C 朝鮮8道のうち南4道の割譲を求めた。
- D 明との和平交渉にあたったのは、加藤清正であった。
- E 豊臣秀次を明の摂政とするよう求めた。
- F 朝鮮兵の鼻を切って差出すよう求めた。



問(6) 秀吉による朝鮮出兵に関する記述として、誤っているものはどれか、選  
びなさい。

〔語 群〕

- A 朝鮮出兵の失敗は豊臣政権の崩壊につながった。
- B 朝鮮から活字印刷術が伝来した。
- C 多くの陶工が日本へ連行され、有田焼・薩摩焼・高取焼などが始ま  
った。
- D 朝鮮では、壬辰・丁酉の倭乱と呼ばれている。
- E 朝鮮出兵の結果、日本は明に入貢することとなった。
- F 慶長の役は、文禄の役に動員した武将への恩賞地として、朝鮮の領  
土を獲得することが目的であった。

(C)

江戸幕府は、1633(寛永10)年、朱印状のほかに (イ) 奉書を携えた奉  
書船以外の海外渡航を禁止し、1635(寛永12)年には、日本人の海外渡航を全  
面的に禁止したうえで、既に渡航していた在外日本人の帰国をも禁止した。そ  
の後、島原の乱の影響から、キリスト教に対する幕府の警戒心はさらに深ま  
り、1639(寛永16)年、ポルトガル船の来航を禁じ、1641(寛永18)年、平戸の  
オランダ商館を長崎の出島に移し、長崎奉行の厳しい監視下に置いた。他方  
において、幕府は中国(明)との正式な国交回復を交渉したが、実現しなかつたた  
め、中国船との私貿易を長崎に限定して統制下に置いた。こうして、日本は、  
いわゆる鎖国状態に入った。  
(e)

問(7) 空欄(イ)に該当する語句を選びなさい。

〔語 群〕

- |       |        |        |
|-------|--------|--------|
| A 若年寄 | B 大老   | C 寺社奉行 |
| D 老中  | E 長崎奉行 | F 大目付  |

問(8) 下線部(e)の「鎖国」という言葉は、ドイツ人医師が著した『日本誌』を、出島のオランダ通詞であった志筑忠雄が邦訳し『鎖国論』と題したのに始まると言われているが、この『日本誌』の著者は誰か、選びなさい。

[語 群]

- |             |                |
|-------------|----------------|
| A ヤン=ヨーステン  | B ウィリアム=アダムズ   |
| C ルイス=フロイス  | D フランシスコ=ザビエル  |
| E グイド=フルベッキ | F エンゲルベルト=ケンペル |

(D)

徳川家康は朝鮮との講和を実現し、1609(慶長14)年、対馬藩主宗氏と朝鮮との間で締結された己酉約条により、釜山に和館が設置され、宗氏が対朝鮮貿易を独占する特権が認められた。1607(慶長12)年から1811(文化8)年まで、朝鮮から使節が都合12回来日した。最初の3回は回答兼刷還使<sup>(f)</sup>と呼ばれ、日本に対する警戒心が強かったが、第4回目以降は通信使と改められ、信(よしみ)を通じることが使節の目的とされるようになった。1711(正徳元)年、家宣の將軍宣下を慶賀する第8回目の使節が来訪したとき、新井白石は、それまで朝鮮からの国書には將軍に対して日本の  と書かれてきたのを、 と改めさせた。 が  より低い意味を持つことを嫌ったからであった。

問(9) 下線部(f)の説明として誤っているものを選びなさい。

[語 群]

- A 日本からの国書に回答することが名目とされた。
- B 日本からの国書は、宗氏の家老が作成した偽国書であった。
- C 文禄・慶長の役で日本へ連行された朝鮮人捕虜を返還させることが目的とされた。
- D 日本からの捕虜の返還は行われなかった。
- E 朝鮮使節一行は国家の賓客として丁重にもてなされた。
- F その経費は、沿道の大名などの負担と地域住民の国役負担で賄われた。

問(10) 空欄(ウ)・(エ)に該当する語句の組み合わせとして正しいを選びなさい。

[語 群]

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| A 大君・国王 | B 国王・大王 | C 大王・大君 |
| D 大君・大王 | E 国王・大君 | F 大王・国王 |

〔Ⅲ〕 次のA・B・Cの各文章(一部変更を加えている)を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

綱領

- 一、(ア) 憲法ノ体裁ヲ用ヒラルル事。
- 一、漸進<sup>ぜんしん</sup>ノ主義ヲ失ハサル事。  
附<sup>つきたり</sup>、欧州各国ノ成法ヲ取捨スルニ付テハ<sup>(a)</sup>李国ノ憲法尤漸進主義ニ適スル事。李国ノ最初ニ憲法ヲ発スルニ当ツテ紛糾ヲ生セシ事跡ハ別ニ具陳<sup>ぐちん</sup>スヘシ。
- 一、<sup>(b)</sup>皇室ノ継嗣法ハ祖宗以来ノ模範ニ依リ新タニ憲法ニ記載スルヲ要セサル事。
- 一、聖上親<sup>みすか</sup>ラ陸海軍ヲ統率シ、外国ニ対シ宣戦講和シ、外国ト条約ヲ結ビ、貨幣ヲ鑄造シ、勲位ヲ授与シ、恩赦ノ典ヲ行ハセラルル等ノ事。
- 一、立法ノ権ヲ分タルル為ニ元老院<sup>(c)</sup>、民撰議院ヲ設ケラルル事。
- 一、元老院ハ特撰議員ト華士族中ノ公撰議員トヲ以テ組織スル事。
- 一、民撰議員ノ撰挙法ハ財産制限ヲ用フヘシ。但シ華士族ハ財産ニ拘ハラサル特許ヲ与フヘキ事。

『岩倉公実記』

問(1) 上の文章は、1881(明治14)年7月、岩倉具視によって太政大臣・三条実美らに提出された「憲法意見書」とよばれているものの一部分である。この意見書は、1889(明治22)年に発布された大日本帝国憲法に強い影響力を与えた。空欄(ア)には、君主単独の意思において制定される憲法であることを意味する語がはいる。空欄(ア)にはいる語句を漢字2字で答えなさい。

問(2) 下線部(a)は国名である。カタカナ4字で答えなさい。

問(3) 下線部(b)について、大日本帝国憲法第2条では、「皇位ハ イ ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス」とされた。空欄(イ)にはいる語句を漢字4字で答えなさい。

問(4) 下線部(c)について、大日本帝国憲法では何という名称に変更されたか。

B

新日本の礎石は置かれた。普選案は予定の如く第五十議会を通過した。<sup>しか</sup>而してここに国民半数の婦人は二十五歳以下の男子及「<sup>および</sup>貧困に依り生活のため公私の救助を受け又は扶助を受くる」少数の男子と共に政治圏外に取残された。我等女性は最早我等が一個の人間として、一個の国民として、国家の政治に参与することの如何に当然にして必要なるかの事由に就いては語るまい。(中略)多くの婦人がその感情や宗教・思想の別を<sup>お</sup>措いて、唯女性の名に依つて協力すると共に、目的を参政権獲得の唯一に限り、<sup>すべ</sup>凡ての力をここに集中すべきである。

問(5) この文章は、1925(大正14)年4月、婦人参政権獲得期成同盟会を改称してつくられた団体の第1回総会で採択された宣言文の一部である。この団体は何とよばれているか、漢字6字で答えなさい。

問(6) 婦人参政権獲得期成同盟会の母体となった、新婦人協会は1920(大正9)年、平塚らいてうや市川房枝らによって結成された。1922(大正11)年2月、新婦人協会は女性の政治運動への参加を禁止していた ウ 法第5条の改正を勝ち取り、女性の政治演説会等への参加ができるようになった。空欄(ウ)にはいる語句を漢字4字で答えなさい。

問(7) 1945(昭和20)年12月、マッカーサーの五大改革指令にもとづき選挙法が改正され満20歳以上の男女に対して選挙権が与えられることになった。その時の日本の首相の姓名を記しなさい。

C

昭和六年九月日支事変ノ連盟付託ヲ見ルヤ、帝国政府ハ……然ルニ過去十七箇月間連盟ニ於ケル審議ノ経過ニ徴スルニ、多数連盟国ハ東洋ニ於ケル現実ノ事態ヲ把握セサルカ、又ハ之ニ直面シテ正当ナル考慮ヲ払ハサルノミナラス、連盟規約其ノ他ノ諸条約及国際法ノ諸原則ノ適用、殊ニ其ノ解釈ニ付帝国ト此等連盟国トノ間ニ屢重大ナル意見ノ相違アルコト明カトナレリ。其ノ結果本年二月二十四日臨時總會ノ採択セル報告書ハ、帝国カ東洋ノ平和ヲ確保セントスル外何等異図ナキノ精神ヲ顧ミサルト同時ニ、事実ノ認定及之ニ基ク論断ニ於テ甚シキ誤謬ニ陥リ、就中九月十八日事件当時及其ノ後ニ於ケル日本軍ノ行動ヲ以テ自衛権ノ発動ニ非スト臆断シ、又同事件前ノ緊張状態及事件後ニ於ケル事態ノ悪化カ支那側ノ全責任ニ属スルヲ看過シ、……一方、満州国成立ノ真相ヲ無視シ、且同国ヲ承認セル帝国ノ立場ヲ否認シ、東洋ニ於ケル事態安定ノ基礎ヲ破壊セントスルモノナリ。……仍テ帝国政府ハ此ノ上連盟ト協カスルノ余地ナキヲ信シ、連盟規約第一条第三項ニ基キ帝国カ国際連盟ヨリ脱退スルコトヲ通告スルモノナリ。

(『日本外交年表並主要文書』)

問(8) この文章は、1933(昭和8)年3月に発布された詔書の一部である。ここに記された理由により、日本は国際連盟を脱退することになるが、その時の首相の姓名を記しなさい。

問(9) 下線部(d)の報告書は、調査団長であったイギリス人の名前を付して何とよばれているか。

問(10) 下線部(e)の事件は、何事件とよばれているか。漢字3字で答えなさい。

〔IV〕 次の(A)・(B)・(C)の各ブロックの文中の空欄に、各ブロックの語群からもっとも適当と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A)

第2次世界大戦でドイツが降伏し、日本の敗色がいつそう強まる中、1945年7月ベルリン近郊のポツダムにおいて、アメリカの 、イギリスのチャーチル(ただし、のちにアトリーと交代する)、ソ連のスターリンが会談を行った。そして、日本の無条件降伏の勧告と戦後処理の方針を内容とするポツダム宣言を、アメリカ、イギリス、の3か国の名において発表した。日本政府はこれを当初は黙殺するという対応をとったが、アメリカはこれをポツダム宣言の拒絶であると受け取り、同年8月6日広島に、9日には長崎に原子爆弾を投下した。また、ソ連が中立条約を無視して日本に宣戦布告して参戦したことなどを受けて、日本政府はポツダム宣言を受諾することとなった。同年8月14日の御前会議により、ポツダム宣言の受諾が最終決定され、これが連合側国側に通知されて、翌日、昭和天皇の玉音放送が行われた。日本の無条件降伏により第2次世界大戦は終結し、内閣は総辞職した。同年9月2日、アメリカの戦艦ミズーリ号上で外相と梅津美治郎参謀総長が降伏文書に調印した。

日本の降伏にともない、連合軍が日本に進駐し、日本は連合軍の統治下に置かれることとなった。その統治機関は、アメリカの元帥を最高司令官とする連合軍最高司令官総司令部(GHQ)である。GHQによる日本の統治はいわゆる間接統治によっていた。すなわち、GHQは日本政府に対して指令や勧告を出し、それに基づいて日本政府が統治を行ったのである。そして、GHQの対日政策は、ひとつには日本の民主化、もうひとつには日本の非軍事化という2つの柱からなっていた。なお、連合軍による日本の占領政策決定の最高機関はワシントンに置かれた極東委員会であり、またGHQの諮問機関として対日理事会が東京に置かれたが、占領政策の主導的役割を果たしたのは実際にはアメリカ政府であった。

[語 群]

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| A オーストラリア | B 小磯国昭    | C マッカーサー  |
| D ルーズヴェルト | E 近衛文麿    | F 中華人民共和国 |
| G オランダ    | H 板垣征四郎   | I フランス    |
| J 広田弘毅    | K 中華民国    | L トルーマン   |
| M 重光葵     | N アイゼンハワー | O 鈴木貫太郎   |



(B)

無条件降伏とともに総辞職した [ ] 内閣にかわり [ 4 ] が組閣した。同内閣は国体護持を主張し [ 5 ] の運用を維持するなど、その政策において、GHQが意図する日本の民主化とは食い違っていたのである。そこで、GHQは同内閣に対し [ 5 ] の廃止や特高警察の廃止などを内容とする人権指令を出したが、同内閣はその実行をためらい、1945年10月に総辞職した。

[ 4 ] 内閣の総辞職を受けて、 [ ] が組閣した。GHQは [ ] に対していわゆる五大改革指令を出した。その具体的な内容は、①婦人参政権の付与による婦人の解放、②労働組合の結成奨励、③教育制度の自由主義化、④秘密警察などの廃止、⑤経済機構の民主化である。同内閣においては [ 5 ] の廃止(1945年10月15日)や政治犯の釈放などが実現され、1946年4月には第2次世界大戦後初の総選挙が行われたが、この総選挙では婦人参政権が認められた。総選挙の結果、 [ 6 ] が第1党となったことから同内閣は1946年5月に総辞職した。五大改革指令の実現はさらに次の [ ] 内閣に引き継がれることになった。

[語群]

- |          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| A 国家総動員法 | B 日本社会党   | C 芦田均   |
| D 吉田茂    | E 治安維持法   | F 日本自由党 |
| G 東久邇宮稔彦 | H 臨時資金調整法 | I 片山哲   |
| J 神道指令   | K 日本進歩党   | L 高松宮宣仁 |
| M 徳田球一   | N 久邇宮朝彦   | O 自由民主党 |

(C)

敗戦後の暗い世相にあっても、文化・スポーツ・学術の分野でさまざまな活動が行われた。

たとえば、歌謡曲では並木路子の「リンゴの歌」が大流行し、さらに「悲しき口笛」や「東京キッド」で有名な美空ひばりが登場した。映画では、が「羅生門」で1951年にヴェネチア国際映画祭グランプリを、7が「西鶴一代女」で1952年にヴェネチア国際映画祭国際賞を受賞した。文学では、大岡昇平の『俘虜記』、太宰治の『斜陽』などが次々と発表された。このうち、『俘虜記』は著者のフィリピンにおける捕虜収容所生活の体験に基づくものである。スポーツの分野では、第2次世界大戦中に中断されていた東京六大学野球が再開され、また水泳では8が世界新記録を出すなど活躍した。

さらに、学術の分野では、まず1949年に湯川秀樹がノーベル9を受賞したことが特筆に値する。社会科学分野では、丸山真男の「超国家主義の論理と心理」、川島武宜の『日本社会の家族的構成』などが有名である。また、考古学の分野においてはや10の発掘が挙げられる。10は、1946年に相沢忠洋が地層から石器を見つけたことにより発見された後、1949年に明治大学考古学研究室による発掘調査が行われ、日本における旧石器時代の文化の存在が確認されたのである。

〔語 群〕

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| A 登呂遺跡    | B 溝口健二   | C 古橋広之進  |
| D 化学賞     | E 円谷英二   | F 岩宿遺跡   |
| G 黒澤明     | H 三内丸山遺跡 | I 物理学賞   |
| J 織田幹雄    | K 鶴田義行   | L 吉野ヶ里遺跡 |
| M 生理学・医学賞 | N 小津安二郎  | O 前畑秀子   |